

明けましておめでとうございます。  
ウサギ年。「卯」は十二支で4番目。方向でいうと東、時刻では午前6時ころ。体も小さくやさしいイメージなので、子供向けの物語にもなっています。

兎と亀、カチカチ山、因幡の白兎・・・  
満月には「兎が餅つきをしている」と言われよく空を見上げたものでした。やがて高校時代の地学の時間にその淡い物語



は崩れていきました。「地球から黒く見える部分は、月のクレーター」だったのです。更にアポロ計画で人類がはじめて月面に着陸すると、科学的にはもっと身近になりました。でも、時代は移っても、科学が進歩しても、月の中の兎は子供たちの夢の中に輝き続けて欲しいものですね。



兎は多くの諺や譬喩にもなっています。

「二兎を追うもの一兎をも得ず」「始めは処女の如く終わり  
は脱兎の如し」「株を守りて兎を待つ」——  
兎が木の切り株にぶつかって死んだのを見た男が、働かずに株を見張ってまた兎を得ようとした故事です。北原白秋の「待ちぼうけ」にも歌われています。



大人の世界では短い赤色のスーツで、耳を長く伸ばした、キュートなバニーガールのお姉さんたちでしょう。

さて、私はといえは今年は古希。カメのように遅くても着実な歩みで、人生の凹凸もウサギの跳躍力で飛び越えていきたい、と願っているところです。

皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

2011年 元旦 清水 武

HP: <http://homepage2.nifty.com/donky/>

Blog: [donky17.cocolog-nifty.com/](http://donky17.cocolog-nifty.com/)

